

2021年4月吉日

2020年度ナラ枯れ募金(第一期)ご報告

この度はナラ枯れ募金にご協力いただき誠にありがとうございました。皆様からのご支援のお陰で、2021年2月8日から16日にかけて、特に緊急性の高かった、1号館（齊藤記念館）下および正門付近の斜面の枯死した危険木を無事に伐採処理することができました。募金は下記の通り使わせていただきましたので、心からの感謝をもってご報告いたします。

なお、荘内にはまだナラ枯れした危険木が相当数残っており、2021年度も伐採を予定しています。下記の通り伐採費用が120万円ほど不足するため、当初の募金目標金額300万円に向けて、ナラ枯れ募金(第二期)として引き続きのご支援をお願い申し上げる次第です。(ナラ枯れ募金は将来的には「東山荘未来の森づくり基金」として内容を拡充し継続していく予定です)。

記

ナラ枯れ募金 2020年度決算

収入	募金総額(3月1日時点)	A	1,802,302円
支出	第一期(2020年度)伐採費用*1	①	858,040円
	伐採樹木処理に係る諸費用	② (③+④)	(120,665円)
		③薪割り機修理代	89,837円
		④丸太運搬機修理代	30,828円
支出合計	B (①+②)	(978,705円)	
差額	募金残高(次年度繰越金)	A-B	823,597円

*1 伐採費用のうちナラ枯れ募金から拠出した額です。伐採にはこの他に御殿場市からの補助金20万円と東山荘の自己資金を用いました。

ナラ枯れ募金 2021年度以降の予定

収入	募金残高(前年度繰越金)	A	823,597円
支出	第二期(2021年度)伐採費用	①	1,110,000円
	第三期(2022年度)伐採費用	②	920,000円
	支出合計	B (①+②)	(2,030,000円)
差額	不足金*1	A-B	△1,206,403円

*1 募金残高約82万円に対し、伐採費用が200万円近くかかるため、120万円ほど不足します。

以上

伐採前



伐採後



泣く泣く伐採しましたが、悪いことばかりではありませんでした。正門付近はだいぶすっきり。



薄暗かった正門から信号までの道路にも、明るく日が差すようになりました。



1号館下の遊歩道からは東山湖が一望できるようになりました。桜の季節は景色が素晴らしい。



伐採した斜面にはカエデ、カラマツ、ミツバツツジ、トチノキなどの幼木を植樹しました。